

『あらゆることに精いっぱい誠を尽くす』

第22回 愛天愛人愛国セミナー

船橋教会 講師：浅川勇男先生 2013年6月21日

□新規向けセミナー

6月21日（金）、船橋教会礼拝堂にて第22回愛天愛人愛国セミナーが開催され、新規VIP7名を含む75名が参加しました。

はじめに李觀東教会長が「愛天愛人愛国の生活は幸せを引き寄せる生活です。天の父母様の愛に導かれて私たちが変わっていきけるように、皆さんの志を高めていきましょう。「精いっぱい」とはどこまでなのか、先生のみ言葉を聞きながら、これからも頑張っていきたいと思います。」と挨拶されました。

家族、夫婦で参加された方もいらっしゃり、温かい雰囲気の中で浅川先生をお迎えしました。浅川先生のわかりやすいお話に、とても復興したひと時となりました。

講話テーマ「あらゆることに精いっぱい誠を尽くす」

- どうしたら幸せになれるのか。幸せというものは家庭にある。
幸せとは積み重ねたもの。
幸せになる努力が必要。
- 日常生活に手を抜いたら、幸せから手を抜いたことになる。
手抜きをしない。夫婦関係、手を抜くと不幸になる。
不幸とは、どこかで手を抜いたからである。

★例) マンションの鉄筋を少なくすると、人が死ぬ。
家は、設計で決まる。マンションは、鉄筋で決まる。
背骨にあたる。
鉄筋の数を減らしたら、崩れて人が死ぬ。

★タクシーの例（南千葉で乗ったタクシーの運転手の話）

『タクシーとは、人生である』

乗車すると、運転手が人生を語り出した。

自分は、会社の中で一番売上をあげている。（自称）

そのコツは、差別をしないことである。

若い人は、お客さんを選ぶ。お金のありそうな人。

しかし、自分は、お客様によって分け隔てしない。

どんな人でも誠を尽くす。

よって、タクシーは人生である。

ある日、大雨が降り、

（急な大雨は、タクシーにとって稼ぎ時。お客さんを選びたい放題。みんな乗りたいから。）
ずぶ濡れのみすぼらしい服を着た男の人が、立って手をあげていた。



しかし、乗せれば車のシートも濡れるし、みすぼらしい身なりだと、遠くまで行ってくれなそう（儲からない）ので、タクシーは止まってくれなかった。そんな時、このタクシー運転手は、スッと止まり、快く乗せてあげると、なんとその男性は、とある会社の社長さんで、鴨川まで乗せて欲しいとのことだった。一気に一日分の売り上げをあげてしまい、帰りは釣りをして帰ってきた。

○精誠の言葉の意義

「誠」の文字は「言」と「成」によって成り立つ。
「言」神様のみ言、「成」実践して目的を成し遂げる
「精いっぱい」とは全力を出し切ること。
全身全霊で真の愛を実践して、愛の家庭、愛の世界をつくること。
絶え間なく継続すること。
「精いっぱい」の「精」と「誠」を合体させると「精誠」となります。文先生が最も大切にしている言葉の一つです。
文先生は「精誠」の生涯を送られたのです。



○「精誠」には必ず実りがある

すぐに結果が出なくてもあきらめてはいけません。
「精誠」とは自分が困難な境遇に置かれても、愛を実践し続けることなのです

○3つの「精誠」

お父様は、「精誠」を尽くした人。
私たち夫婦も「精誠」を尽くし愛し続けること。
愛し続けようとするとも必ず自分の心の中に邪魔が入る。
もう、やるだけやった。やめたらどうか？
自分に勝った人だけ、幸せになれる。
①感謝されなくても、続ける。
②無視されても、愛し続ける。 黙々と尽くし続ける。
愛って評価されるんですか？
③裏切られても愛し続ける。 ひたすら尽くす。



○書写とは、裏切られても、①～③で愛し続ける人の魂（お父様）と私の心が一つになる事。

<参加者の感想>

タクシーの運転手の方が「タクシーは人生だ」と人を選ばずに乗せていく中で良い出会いがあったお話が印象的でした。文先生がなされたように、見返りを求めず誠を尽くしていくことが、人生を実りあるものにしていくのだと思いました。

